

週 報

1991年6月16日 聖霊降臨節第5主日

巻 12

11号

1991年度教会主題

「神の国は私たちの間にある」

聖句 ファリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので、イエスは答えて言われた。「神の国は、見える形では来ない。『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。

ルカによる福音書 17章20節～21節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 新会堂を献げ、共に宣教に励む。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

会 堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

振替 横浜 9-13994

牧師宅 〒235 横浜市磯子区祥光台 5丁目6-3-304

電話 045-833-6616

牧 師 禾 火 吉 隆 雄

一 集 会 状 況 一

男 女 計

主 日 礼 拜 6/ 9 20 73 93

教 会 学 校 6/ 9 14 23 37

一 牧 師 室 か ら 一

イエスは弟子たちに「あなたがたはわたしを何者だと言うのか」と問われた。ペトロは弟子たちを代表して「神からのメシアです」と答えた。ナザレのイエスをメシア・キリストと信じ、告白することがキリスト教信仰の核心である。イエスの真実な愛に神を見、十字架による罪の赦しと復活による神の命を信じるから、イエスを私の主・キリストと告白するのである。主・キリストとは私の生と死を全く委ね切る絶対な方という意味である。この信仰はお題目や自己陶醉ではなく、極めて社会的

な意味を持っている。戦争中、天皇に国民の生と死を集約させた。又、権力や金力や科学が絶対的価値を持って人間を支配しようとする。キリスト告白は「天皇もただの人、権力や金力や科学も人間をよりよく生かすための手段に過ぎません」と地上のものを徹底的に相対化する告白である。あるものを、それ以上にもそれ以下にも見ないで、あるがままのものとして受け止める。これは、主・キリストだけに生と死の根拠を置く「私」であることの表明である。自己確立、今日の言葉で言えば、アイデンティティを主・キリストに見出す。この告白が、人と社会に差別と抑圧からの解放をもたらし共にあろうとする「愛」を生む。教会はこのキリスト告白に生きる群れである。

新会堂での礼拝に感懐し、神様の深い導きを感じる。その導きに答え、イエスを主・キリストと告白することは、この時代で、どんな教会になっていくことを真摯に求め続けていきたい。